

「すばらしい運動会でした。さすが南っ子！」

<南風 第11回 11月>

前日の雨天で延期されましたが、10月24日は秋晴れの絶好の運動会日和でした。たくさんの保護者、地域の方々にもご来校いただき、今年度の運動会を無事に開催することができました。今年の運動会のテーマである「南っ子 個性輝く 虹になれ」のもと、一人一人が力を出し切り、自分のため、仲間のため、応援してくれる家族のためにがんばった運動会となりました。閉会式で、仲間や自分に送った拍手がとても温かく、印象深かったです。温かいご声援をいただいた保護者、地域のみなさま本当にありがとうございました。

この運動会を通して、全力でがんばること、仲間と協力することの大切さを学んだと思います。運動会での学びをこれからの学校生活にも大いにいかしてほしいと思います。また、高学年は、前日の準備から、係の仕事にも責任をもって取り組んでくれました。「さすが南小の高学年」と感心させられました。一つの大きな行事に向かって、学校が一丸となって取り組む南小学校の良さを今後も大切にしていきたいです。

南小学校の令和6年度も後期に入りました。1年間の後半戦になります。先日の始業式では、ここからの半年間、6年生は中学校へ、1~5年生は次の学年への準備期間としてスタートしてほしいと話しました。あっという間に1年は過ぎていきます。4月に立てた目標、新たに立てる目標をしっかりとって、楽しい毎日を過ごしてほしいと願っています。

最近、年々ですが時間が経つことが早くなってきている気がします。同じ1年間という時間は変化はないはずですが、「仕事が忙しいから」とか、「自分の活動量が減ったから」とか、自分なりに適当な理由をつけて考えていました。しかし、大人の時間経過が早いには科学的な理由があることを最近知りました。特に影響の大きな三つの要因があるそうで、一つは加齢による〈代謝の低下〉です。子どもは代謝が活発で、体温も高いです。年齢を重ねると、代謝が落ちて体温も低くなってきます。また、脳のどこかから神経信号が発信され、その信号の蓄積量が感じられる時間の長さに対応します。体の代謝が激しい若い年齢層は信号が速いペースで発信され、短時間で信号がたくさん蓄積されるので、体の外の時計の時間がゆったり感じられることになるそうです。

二つ目の要因は〈体験の数〉です。体験や認知の数が多いほど時間は長く感じられます。子どもの頃は、毎日が新しいイベントや出来事の連続です。大人になると、ほとんどの出来事が経験済みであるためにイベントとしてとらえられなくなります。大人は慣れきったルーティンと化し、単調な毎日では前述の脳からの刺激がゆっくりになるため、時間が早く過ぎてしまうらしいです。

三つ目の要因は〈時間経過への注意〉です。子どもるとき、カレンダーや時計を繰り返しながらめては、未来のイベントや行事を待ちわびた経験はありますよね。子どもは、そのイベントまでの日数を指折り数えて待ち遠しく感じられるようなことが多いものです。自分自身もそうでした。つまり、時間経過に注意が向く回数が多いほど、時間は長く感じられるとのことでした。

子どもたちといっしょに生活をしている教職員として、わくわくした毎を送りたいです。そして、子どもたちの元気やパワーをもらって、充実したすばらしい毎日を過ごせる職員一同でありたいです。